

第 140 回実践勉強会 実施レポート

共催 大田区薬剤師会・丸石製薬株式会社

参加者 92 名

『実践勉強会 2022 年 3 月 8 日 (火)』

19:45～21:15

「基本的な感染対策の再考～

COVID-19 流行を受けて～」

東京慈恵会医科大学附属病院 感染対策部

美島 路恵 先生

Q 一度塗布すると長期間抗菌作用が持続するのを売り文句にしている市販の除菌剤があるが本当に持続するか？

A 実験室レベルの誰も触らない状況でスプレーした状況であれば、環境は維持できるかもしれないが、通常的生活する環境はいろんな人が触ったりするシチュエーションなので、一般の生活・診療レベルでは難しいのではないかと考えられます。

- Q 当薬局では発熱した患者さんが来院する際は、事前に連絡をいただいた上で来院時には薬局の外で、処方箋をピンセットで受け取り薬を手渡している。そのような際にも2mの距離をとることは必要か？
- A 飛沫を浴びる距離は一般的に2mといわれているが、外でお互いマスクをして短時間であれば飛沫を暴露して感染する可能性は低いと考えられる。また患者さんに薬を渡した後は手指衛生をすれば感染対策は充分であると考えられる。
- Q 当薬局においても緊急時用としてN95マスクを在庫しているが、フィットテストをしていなければ、もしマスクがフィットしていなければN95マスクとしての機能をしていないでしょうか？
- A N95マスクは多少フィットしていなくても結核であれば非常にリスクが高いが、サージカルマスクよりかは効果が高い。またメーカーによってはフィットテストの機械を持ってきてテストをしてくれる業者もある。また人の顔によってマスクのフィット率は違うため、マスクをしているから安心ではなく、マスクをして距離をとり接触は短時間にして手指衛生をすることにより、より効果の高い感染対策となる。
- Q 教師をしている友人がワクチンを3回接種しても感染してしまいました。有効な予防方法は？基本的な感染対策を繰り返す必要があるのでしょうか？
- A 当院でもワクチンを3回接種していても感染したケースはあります。その対象者に確認したところ家庭内感染・外食時にマスクを外した際に感染した可能性がある。家の外でマスクを外すことがないようにすることが重要です。また環境表面が汚染されていて手について目や鼻を触り感染する可能性もあるので、一つ一つの感染対策を積み重ねていく必要がある。
- Q 濃厚接触者と接触する時の注意点について教えてください
- A 濃厚接触者が家庭内の場合は、家庭内で接触のリスクを減らすことが重要です。またトイレ・お風呂は共有になるので、全員がマスクをしてドアノブ・換気扇を回し続けることで換気効率があがる。そういった感染対策の積み重ねを行う必要がある。
- Q 空気清浄機についてご意見をお聞かせください
- A ないよりはあった方がよいが、データとしてどれくらい効果があるかは不明。大事なことは密な空間をつくらないこと、換気効率をあげることで、換気が難しい場合は空気清浄機との併用をする方法も考えられる。

一番重要なことは新鮮な空気を入れることです。